

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

急性心筋梗塞に対するPrimary PCI可能施設はどのように配置されるべきか～地域中核病院におけるPrimary PCI～

2. 研究の対象患者

旭中央病院でPrimary PCIを施行し、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない患者さんを対象とする。

1. 選択基準

1) 当院でPrimary PCIを施行した患者さん

2) 年齢不問

3) 性別不問

2. 除外基準

1) 研究責任(分担)者が研究対象者として不適当と判断した患者さん

3. 研究の対象期間

2016年1月1日～2022年12月31日

4. 研究の概要

急性冠症候群(acute coronary syndrome:ACS)は、冠動脈病変がプラーク破裂等の原因で急性に心筋虚血をきたし、突然心臓を灌流する血液量が減少する状態を言う。急性心筋梗塞では、心筋組織の壊死が進行している状態であるが、たとえ心筋細胞の死を伴わない場合でも、心臓は危険な状態であり、ACSは迅速な診断及び緊急治療を要する。

臨床的には、ST上昇型心筋梗塞(ST-elevation myocardial infarction:STEMI)、非ST上昇型心筋梗塞(non-ST-elevation myocardial infarction:NSTEMI)ならびに不安定狭心症(unstable angina:UA)に分類され、急性期治療が適切に行われないと急性期死亡率が高く、生存しても慢性期には心不全の原因となり、慢性期死亡率も高い。急性期治療は非常に重要である。

日本の現状では、Primary PCI施行率はSTEMIの73%であり、27%の患者は受けられていない。特に高齢者及び女性で施行率が低く、大きな問題である。その理由として、患者本人が心筋梗塞でありながら受診しないこと、医療者が診断できずに遅延すること、搬送の問題ならびにPrimary PCI可能施設が地方に存在しないこと等さまざまな社会的な問題がある。さらに、心筋梗塞の30日死亡率は、世界的にみて平均値よりも高く、例えば、トルコやエストニアよりも死亡率が高く、何らかの改善策が早急に必要な現状である。PCI施設は、日本では競争的に増加してきたため、都市部に集中している傾向がある。そこで今回は当院におけるPrimary PCIの現状を後方視的に研究し、当地域の特性を検討する。

5. 研究実施予定期間

2023年7月19日～2024年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕：年齢、性別、死亡の有無、居住地(郵便番号)

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果は研究対象者(又は代諾者)個々には開示しない。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者： 循環器内科 榎田俊一

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)